



看護 とちぎ

ーナースセンターニュース合同号ー



とちまるくん
(栃木県マスコットキャラクター)

ナイチュウ
(とちぎナイスハート推進マスコットキャラクター)

CONTENTS

- 2** 平成29年度栃木県看護協会通常総会
平成29年度新役員紹介
- 3** 第31回栃木県看護大会
第27回「看護の日」記念行事
第31回栃木県看護大会
知事表彰受賞者
- 4** 第31回栃木県看護大会
大会長表彰受賞者
- 5** 第31回栃木県看護大会
感謝状贈呈受領者
- 6** 平成29年度栃木県看護協会役員名簿
- 8** 特集 今年の各委員会事業計画
- 10** 「栃木県看護協会医療安全管理者養成コース」
修了者の実態調査
- 14** 栃木県ナースセンター
- 16** 看護の「心」普及事業
離職された看護職の方へ
- 17** 平成28年度 離職状況施設調査結果
WLB(ワークライフバランス)の推進
- 18** 味自慢・わたしのon-off・お知らせ・編集後記

※黒字は看護協会のページ、青字はナースセンターのページです。



会員数 9,907人 (H29.6.30現在)



平成29年度公益社団法人栃木県看護協会通常総会

6月17日（土）とちぎ健康の森講堂において、平成29年度公益社団法人栃木県看護協会通常総会が開催されました。

会員総数 9,907 名中 理事役員 21 名 本人出席 368 名 委任状 8,783 名 合計 9,172 名で通常総会は成立しました。

議長団の円滑な議事進行により提出議案はすべて可決・承認されました。その後新役員の紹介があり最後に参加者全員で協会歌「光求めて」を合唱し閉会となりました。



平成29年度 理 事 会



平成29年度 新役員紹介

役員としての抱負



副会長
日光市役所
福田敬子

大役に身の引き締まる思いです。皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、宜しく願い申し上げます。



専務理事
栃木県看護協会
鱒淵清子

会員の皆様と共に、県民に期待される看護職の役割を果たせるよう、看護協会事業の推進に努めてまいります。



理事
栃木県立衛生福祉大学校
亀井令子

30年看護師養成に携わってきた私は、今回見聞を広める機会をいただきました。責務を自覚し努めてまいります。



第31回栃木県看護大会・第27回「看護の日」記念行事

記念行事が5月13日(土)に栃木県総合文化センターで開催されました。

式典では長年看護に携わりご尽力された功績により、知事表彰5名・大会長表彰22名・感謝状贈呈16名の合計43名の方が受賞されました。

また「心にのこる看護エピソード」や高校生・看護学生による「ふれあい看護体験発表」が行われました。各ブースではAED体験、進路・就職相談室、まちの保健室、お子様白衣モデル体験があり看護の魅力に触れることができました。また企業展示を行いました。

記念講演では北澤彰浩氏による「在宅医療の充実に向けて」のテーマで最期を在宅で迎える時の貴重な講話をいただきました。患者、家族との関わり方がいかに大切かを学ぶ事ができました。



第31回栃木県看護大会知事表彰受賞者 (所属施設は平成29年3月31日現在)

私の信念



自治医科大学附属病院

朝野春美

バランスよく考え、みんなで知恵を出しあいながら、何事もあきらめずに取り組む。



栃木県南健康福祉センター

中河原幸子

地域保健福祉の向上のため、人に寄り添い現場を大切にしつつ、広域的な連携体制づくりを目指すことです。



獨協医科大学病院

仁戸部富恵

「人は、本来レジリエンスを築き生きていくことができる」長年看護職を勤めさせていただき感謝です。



石橋総合病院

前原多鶴子

多くの方に支えられ今があることに感謝。気配り、目配り、思いやりの心を忘れず、相手の立場に立って考える。



助産所ままと赤ちゃんの家

武藤香子

順境の時は感謝、逆境の時は反省し、どんな時も「よいことは必ずできる」と信じて進む。



第31回栃木県看護大会大会長表彰受賞者 (所属施設は平成29年3月31日現在)

私の信念



佐野厚生総合病院

青木和子

「常に笑顔を忘れずに」です。心からの笑顔は人との良好な関係が生まれます。笑顔のツワに誇りを持って!



国際医療福祉大学
塩谷病院

青木貴子

「一期一会」を大切に、感謝の心を持って、日々、誠実に正直に生きていきたいと思っています。



石橋総合病院

安澤加代子

「至誠通天」当たり前のように日常に感謝しながら、一つひとつの課題に誠実に取り組み、努力すれば必ず願いは叶う。



那須烏山市役所

稲葉節子

この度は、大会長表彰ありがとうございます。保健師の「みる、つなぐ、うごかす、を意識しながら活動します。



自治医科大学附属病院

井上佐代子

一期一会の出会いを大切にしています。「この道より我を生かす道なし、この道を歩く」私を支える言葉です。



栃木県立衛生福祉大学校

大島由美

「目の前の人とその周囲の人々の幸せのために」と歩んだ日々です。それを支えてくださる皆様に感謝です。



上都賀総合病院

金子好子

「患者一人ひとりの思いに耳を傾け、その心に添えるような看護」を今後も提供していきたいと思っています。



芳賀赤十字病院

河原美智子

患者さんと一緒に働く仲間の痛み、苦しみ、うれしさなど、相手の気持ちを組み取った対応ができる看護者である。



栃木県安足健康福祉センター

菊地 幹

出会いと笑顔を大切に、決めつけず諦めずコミュニケーションをとりアプローチすることを心がけています。



栃木県東健康福祉センター

小林智子

困難な時にあっても、決してあきらめず、自分にできることに取り組む。常に自分に厳しくあります。



芳賀赤十字病院

篠原明子

「人との関わりを大切に」と思いながら看護師を続けてきました。支え育ててくれた方々に深く感謝致します。



新小山市市民病院

白石享子

患者様の言葉や態度に耳を傾け、ご自身が持っている力を伸ばせるようケアや知識を提供していきたいと思っています。



南那須地区広域行政事務
組合那須南病院

関谷由美子

今を楽しむために、小さな喜びを見逃さないこと。仲間と共有すること。それを励みにして次へ頑張ること。



県南健康福祉センター

早乙女容子

人生は一期一会。だから何事もあきらめず、真摯に向き合うようにしています。



那須赤十字病院

相馬幸子

丁寧に誠実に向き合い関わると、人も物も大切にできると思います。そして「前に進む」こと。



日光市役所

鷹筈英子

「和顔愛語」相手の立場や気持ちを推し量ることを忘れずに、どんな時でも前を向いて進んでいくこと。



済生会宇都宮病院

櫛 久美子

周りの人々への感謝の気持ちを忘れず、何事にも責任を持って対応する。「感謝」と「責任」が私の信念です。



地方独立行政法人
県立がんセンター

増崎美智子

私の信念は、自分が患者やその家族だったらという視点で、患者の安全・安楽をプロとして追求することです。



自治医科大学附属
病院

宮田直美

志は高く、愛情は深く、口を慎んで態度は控えめにありたいと心がけています。



獨協医科大学病院

森川純子

私の周りで支えてくださった方々のおかげです。これからも絆を大切に、自己研鑽に励みます。



鹿沼市役所

渡辺良子

人との出会い、繋がりを大切にしていきたい。人生楽しくをモットーに、何事にも感謝する心と遊び心を忘れずに。



まごーずハウス

天谷一美

多様化する母子に、ていねいに寄り添い、接することで解決できると考え、今後も地域で活動していきます。



第31回栃木県看護大会感謝状贈呈受領者 (所属施設は平成29年3月31日現在)

私の信念



自治医科大学附属病院
石岡美登子

私は、患者・家族の思いに寄り添うことができているのかと、振り返りができる看護を大切にしている。



御殿山病院
石川光子

支えてくれている方達への感謝を忘れず、患者・家族の心にかにより添えるかをモットーに、私なりに頑張りたいです。



自治医科大学附属病院
井上浩子

感謝状頂きありがとうございます。私の信念は、基本的に忠実に、自分らしく出来る事を実行することで。



那須赤十字病院
上野孝子

安心して入院生活が送れるために、患者や御家族様の気持ちを傾聴し環境を整えることを信念に続けています。



下野市役所
臼井雅子

一緒にいる仲間、出会った多くの方に支えられてきたことに感謝です。自分のできることを継続していきたい。



済生会宇都宮病院
小林光子

自分自身が笑顔でいれば周囲も穏やかになる。常に人と人との繋がりを大切にしています。



佐野厚生総合病院
佐藤早苗

患者家族の目線で思いを聴き、寄り沿った看護の関わりが、自分の成長に繋がると思って努力することです。



とちぎメディカルセンター
とちのき
塩川和子

今日まで周りの人達に助けられ看護の道を歩んできました。今後も感謝の思いを忘れずにいきたいと思ひます。



足利赤十字病院
嶋田久美子

「一つひとつ丁寧に、誠意を持って事に当たる」ことを初心とし、自らの支えとしています。



上都賀総合病院
大門友子

患者の気持ちを汲み取り、訴えを傾聴し、病床にある患者のニーズに応えていくことが大切だと考えています。



芳賀赤十字病院
塚田則子

私が一番大切にしていることは対話です。相手が何を伝えたいかを理解し気持ちに添えた答えを伝えることです。



芳賀赤十字病院
中澤明子

ポジティブに考える。人生、いろいろな事がやって来るが、前向きにいつも笑顔で生きていくと決めている。



特別養護老人ホーム桜の華
野沢英子

いつも笑顔で、相手を思いやる心と「ありがとう」の感謝の気持ちを忘れない事、そして健康でいる事です。



栃木県県南高等看護専門学院
平山磯子

日々色々な出来事があります。そんな出会いにも感謝。私も誰かの役に立てたらと想いながらの毎日です。



宇都宮市役所
箕輪章子

家族や職場など周囲の支えに感謝を忘れずに。出会い、つながりを大切に、今出来る事を自分らしく。



石橋総合病院
山崎孝子

私は患者さんに寄り添える看護を信念として歩んできました。これからもほこりをもって仕事に専念致します。



平成29年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿

平成29年6月17日現在

役員名

役職名	氏名	施設名
会長	渡邊 カヨ子	公益社団法人栃木県看護協会
副会長	朝野 春美	自治医科大学附属病院
副会長	福田 敬子	日光市役所
専務理事	鱒 渕 清子	公益社団法人栃木県看護協会
常任理事	馬 込 公子	公益社団法人栃木県看護協会
保健師職能理事	五月女 祐子	栃木県県南高等看護専門学院
助産師職能理事	佐藤 君江	獨協医科大学病院
看護師職能理事	齋藤 由利子	上都賀総合病院
理事	村上 充子	国際医療福祉大学塩谷病院
〃	関根 照代	新小山市民病院
〃	小澤 伸子	足利赤十字病院
〃	谷田貝 理恵	とちぎメディカルセンターしもつが
〃	糟谷 真知子	宇都宮中央病院
〃	仁戸部 富恵	獨協医科大学病院
〃	河原 美智子	芳賀赤十字病院
〃	高橋 美知子	那須赤十字病院
〃	細野 克子	西方病院
〃	駒場 悦子	森病院
〃	亀井 令子	栃木県立衛生福祉大学校
〃	坂上 和江	真岡病院
監事	山口 久美子	獨協医科大学看護学部
〃	荒木 剛	荒木税務会計事務所

	役職名	氏名	施設名	
助産師職能委員会	委員長	佐藤 君江	獨協医科大学病院	
	委員	片平 有紀	国際医療福祉大学病院	
	委員	塩田 利江	足利赤十字病院	
	委員	吉成 律子	那須赤十字病院	
	委員	今泉 玲子	獨協医科大学看護学部	
	委員	星 宏枝	済生会宇都宮病院	
	委員	塚田 祐子	自治医科大学附属病院	
	委員	山本 仁美	芳賀赤十字病院	
	看護師職能委員会	委員長	齋藤 由利子	上都賀総合病院
		委員	池田 律子	自治医科大学附属病院
委員		大木 啓子	足利赤十字病院	
委員		齋藤 美樹	老人保健施設かみつが	
委員		篠原 明子	芳賀赤十字病院	
委員		市村 利枝	白澤病院	
委員		井上 文子	那須赤十字病院	
委員		野澤 英子	特別養護老人ホーム桜の華	
委員		磯部 由美子	国際医療福祉大学塩谷病院	
委員		生井 郁子	獨協医科大学病院	
委員		檜山 孝子	栃木県立がんセンター	
委員		余川 由紀子	済生会宇都宮病院	
委員		五十嵐 宏通	新上三川病院	

推薦委員会名

役職名	氏名	施設名
委員長	大竹 公子	獨協医科大学病院
委員	櫛田 恵津子	国際医療福祉大学病院
委員	上野 久子	自治医科大学附属病院
委員	黒崎 道	栃木県精神保健福祉センター
委員	高川 真紀	済生会宇都宮病院
委員	藤田 律子	大田原市役所
委員	吉田 登美恵	佐野厚生総合病院

常任委員会名

	役職名	氏名	施設名
社会経済福祉委員会	担当理事	村上 充子	国際医療福祉大学塩谷病院
	委員長	森川 純子	獨協医科大学病院
	委員	中村 史江	足利工業大学看護学部
	委員	井上 芽衣	県東健康福祉センター
	委員	大嶋 栄子	上都賀総合病院
	委員	加藤 洋子	とちぎりハビリテーションセンター
	委員	高山 早苗	石橋総合病院
	教育委員会	担当理事	馬込 公子
委員長		内堀 由美子	獨協医科大学病院
委員		熊田 洋子	国際医療福祉大学病院
委員		大豆生田 桂子	とちぎメディカルセンターしもつが
委員		平澤 靖子	済生会宇都宮病院
委員		小林 久枝	佐野厚生総合病院
委員		築瀬 順子	自治医科大学附属病院
委員		朝野 恵子	那須赤十字病院
委員		兼康 和子	菅間記念病院
委員		山形 文子	上都賀総合病院
委員		熊倉 律子	壬生町役場
委員		田甫 久美子	獨協医科大学看護学部
委員		中河原 幸子	県南健康福祉センター
委員	小倉 佳子	獨協医科大学日光医療センター	

地区支部長名

地区名	氏名	施設名
宇都宮	糟谷 真知子	宇都宮中央病院
県西	駒場 悦子	森病院
県東	河原 美智子	芳賀赤十字病院
栃木	仁戸部 富恵	獨協医科大学病院
小山	関根 照代	新小山市民病院
県北	高橋 美知子	那須赤十字病院
安足	小澤 伸子	足利赤十字病院

職能委員会名

	役職名	氏名	施設名
保健師職能委員会	委員長	五月女 祐子	栃木県県南高等看護専門学院
	委員	根本 幸子	鹿沼市役所
	委員	佐藤 聖子	安足健康福祉センター
	委員	小林 典子	小山市役所
	委員	細島 弘子	真岡市役所
	委員	若林 珠江	栃木健康福祉センター
	委員	大友 昌子	宇都宮市役所
	委員	田沼 かおり	県東健康福祉センター
委員	原田 千佳子	県北健康福祉センター	



	役職名	氏名	施設名	
広報委員会	担当理事	朝野 春美	自治医科大学附属病院	
	委員長	佐藤 幸子	済生会宇都宮病院	
	委員	塩澤 由香	独立行政法人国立病院機構宇都宮病院	
	委員	青木 和子	佐野厚生総合病院	
	委員	大塚 明子	国際医療福祉大学塩谷病院	
	委員	大出 悦子	新小山市市民病院	
	委員	佐藤 由紀子	県西健康福祉センター	
	委員	田仲 史子	今市病院	
	委員	小倉 敏満	栃木県立岡本台病院	
	災害看護委員会	担当理事	谷田貝 理恵	とちぎメディカルセンターしもつが
委員長		橋本 美雪	獨協医科大学病院	
委員		本多 秀子	那須南病院	
委員		鈴木 はるみ	済生会宇都宮病院	
委員		中山 千穂	足利赤十字病院	
委員		笠野 佳代子	自治医科大学附属病院	
委員		矢吹 有子	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院	
委員		渡邊 信代	那須赤十字病院	
医療安全対策推進委員会		担当理事	細野 克子	西方病院
		委員長	星野 紀恵	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院
	委員	永井 智恵美	栃木県立がんセンター	
	委員	野澤 博子	自治医科大学附属病院	
	委員	猪熊 洋子	佐野厚生総合病院	
	委員	大貫 洋子	上都賀総合病院	
	委員	鮎田 久成	済生会宇都宮病院	

特別委員会名

	役職名	氏名	施設名
認定看護管理者教育委員会	担当理事	馬込 公子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	中村 美鈴	自治医科大学看護学部
	委員	増崎 美智子	栃木県立がんセンター
	委員	勝城 友子	芳賀赤十字病院
	委員	小林 阿由美	済生会宇都宮病院
	委員	渡辺 芳江	自治医科大学附属病院
	委員	金子 昌子	獨協医科大学看護学部
	専任教員	菊地 涼子	介護老人保健施設しらさぎ荘
	専任教員	篠原 孝子	自宅
	訪問看護教育委員会	担当理事	馬込 公子
委員長		鳥居 香織	さくら訪問看護ステーション
委員		川島 由美子	訪問看護ステーションみやの杜
委員		平石 恭子	宇都宮市保健所
委員		重信 純子	とちぎ訪問看護ステーションいまいち
委員		小蘭江 一代	わくわく訪問看護ステーションおやま
委員		手塚 純子	獨協医科大学病院
委員		野原 恵	栃木県保健福祉部健康増進課

	役職名	氏名	施設名	
実習指導者講習会委員会	担当理事	亀井 令子	栃木県立衛生福祉大学校	
	委員長	大貫 紀子	自治医科大学附属病院	
	委員	伊藤 恭子	栃木県立衛生福祉大学校	
	委員	豊田 豊子	那須赤十字病院	
	委員	平野 正江	獨協医科大学病院	
	委員	戸崎 敦代	芳賀赤十字病院	
	看護大会準備委員会	委員長	福田 敬子	日光市役所
		委員	渡邊 カヨ子	公益社団法人栃木県看護協会
		委員	朝野 春美	自治医科大学附属病院
		委員	鱒 渕 清子	公益社団法人栃木県看護協会
委員		馬込 公子	公益社団法人栃木県看護協会	
委員		五月女 祐子	栃木県県南高等看護専門学院	
委員		佐藤 君江	獨協医科大学病院	
委員		齋藤 由利子	上都賀総合病院	
委員		鈴木 太	氏家病院	
委員		青木 恵子	今市病院	
看護職確保定着(WLB)推進委員会	委員	永澤 恭子	栃木県立衛生福祉大学校	
	委員	菅原 昌美	佐野市民病院	
	委員	天谷 一美	まぎーずハウス	
	委員	大島 直人	栃木県立岡本台病院	
	担当理事	馬込 公子	公益社団法人栃木県看護協会	
	委員長	細野 克子	西方病院	
	委員	齋藤 由利子	上都賀総合病院	
	委員	高崎 至子	自宅	
	委員	仁戸部 富恵	獨協医科大学病院	
	委員	杉本 友子	那須中央病院	
新人看護職員応援研修委員会	委員	宮本 律子	とちぎメディカルセンター本部	
	委員	五月女 幸子	栃木県保健福祉部医療政策課看護職員育成担当	
	委員	長谷川 万由美	宇都宮大学	
	委員	藤田 英二	栃木県労働基準協会連合会	
	担当理事	馬込 公子	公益社団法人栃木県看護協会	
	委員長	亀田 美智子	自治医科大学附属病院	
	委員	松本 洋子	上都賀総合病院	
	委員	林田 千春	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター	
委員	野本 伊江子	藤井脳神経外科病院		
委員	野田 彩	皆間記念病院		



特集 今年の各委

職能委員会活動計画

保健師職能委員会

保健師職能委員長 五月女 祐子



保健師職能委員会活動計画

今年度は次の2点を重点目標として活動していきます。①個々の保健師の経験や到達度を踏まえ、それぞれのキャリアデザインに応じた主体的な現任教育の必要性の共有化 ②行政、医療・福祉、企業等の職域を越えた保健師の連携体制の構築と会員の拡大

具体的事業としては、個別性を重視した現任教育の先進事例について学ぶ研修会を10月に実施予定であり、また今年5年目を迎える保健指導ミーティングを12月に実施します。更にさまざまな活動領域の関係団体等と積極的に連携しながら、保健師職能委員会活動や保健師を巡るさまざまな情報をニュースレターとして会員等に発信していく予定です。

保健師を取り巻く状況が変化中、各領域の保健師が語りあえる「場」をつくり、共に成長していけるような活動を目指して、職能委員一同、今年度も頑張ります！

助産師職能委員会

助産師職能委員長 佐藤 君江



助産師職能委員会活動計画

女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整え、児童虐待防止や母子に対する心身のケアを図るため「産後ケア事業」が全国的に推進され、栃木県でも取り組みが開始されています。産後ケア事業に係る助産師たちが、周産期のメンタルヘルス対策について学べるよう研修会を企画し、栃木県保健福祉部こども政策課や栃木県助産師会の方々と連携を図っております。また、助産師がいきいきと働き続けられるよう県内の産科施設との連携も図っていきたくと考えております。栃木県では毎年約30名の新人助産師が誕生しています。さまざまな施設で勤務する新人助産師が一同に介し、知識や技術を学び、そして交流を深めお互いがよきライバルとしてともに成長していけるよう、新人助産師研修会を今年も2回企画しております。委員会の活動報告や施設紹介を「ミッドワイフトーク」に掲載しておりますので、看護協会ホームページから是非ご覧ください。

看護師職能委員会

看護師職能委員長 齋藤 由利子



看護師職能委員会事業計画

平成29年度は、変化する医療提供体制に看護管理者はどう対応していくか、在宅支援の充実を図るためにはどうあるべきか等を研修会・交流会を通して学びを深めます。

1) 在宅療養支援に関する研修会・交流会

テーマ：「在宅支援」のありかたと看護の課題

日時：平成29年10月30日（月）

対象：病院、老人福祉施設等に勤務する看護職

内容：①事例発表3（病院看護師、訪問看護師、老人福祉施設看護師）

②演習 ワールド・カフェ形式による情報交換

2) 看護管理者研修会・交流会

テーマ：できる！使える！看護管理指標のイロハ

日時：平成29年11月27日（月）

内容：①講義 JCHO うつのみや病院 後藤 勝先生

②演習 ワールド・カフェ形式による情報交換

3) 介護・福祉施設・在宅等に勤務する看護職の研修会

日時：平成30年1月30日（火）

テーマ：介護施設等における看取りについて

講師：訪問看護認定看護師 黒崎 雅子先生

常任委員会活動計画

社会経済福祉委員会

社会経済福祉委員長 森川 純子

WLB（ワーク・ライフ・バランス）一いきいきと働きつづけるために—
看護協会の会員拡大を促進するための企画運営

社会経済福祉委員会では、WLB推進事業への協力を継続する事業として、看護職者の職場定着を目指し、労働環境等の改善および雇用の質の向上、看護師確保定着事業の推進のための取り組みを行っています。「仕事と生活」のバランスを考え働きやすい職場にするための取り組みとして、今年度も平成28年度診療報酬改正などを加味した情報提供に努め、WLBのいろいろな施設の試みを拝聴して様々な側面から学びを深めていきたいと考えています。さらに昨年度から進めてまいりました看護協会の会員拡大を促進するための企画運営をメインにした活動をする予定です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

員会事業計画

教育委員会

教育委員長 内堀 由美子



社会・医療情勢の変化に対応した研修企画を目指して

2025年に向かい、医療に対するニーズは、さらに高まっています。「地域包括ケアシステム」が進められるなか、看護は専門性を高め、他職種との連携を今まで以上に強化する必要があります。教育委員会では、このような背景をふまえ、研修会を企画・実施しています。

個人が研修会に参加し学ぶだけでなく、研修会で得たものを現場で活かし、より質の高い看護に繋げていただけたらと考えています。

今年度から、研修案内を冊子からポスター形式として、研修の全体像を把握しやすくしました。また、研修の申し込みをWEBサイトで実施できるシステムが導入されます。

皆様が、研修に参加し「よかった」と思っていただけよう企画していきますので、研修の参加とご意見・ご要望をお待ちしております。

広報委員会

広報委員長 佐藤 幸子



とちぎの看護の旬な情報発信を目指して

広報委員会では、機関誌「看護とちぎ」の年4回発行に伴う企画、取材、校正を行っていきます。うち2回はナースセンターとの合同号を発行していきます。

会員の皆様や関係者ならびに地域住民に向けて栃木県看護協会の活動状況や、健康に関する情報提供を図っていきます。

会員及び地域住民のニーズを把握し役立つ情報を発信していけるよう努めていきます。

各施設での活動、職場紹介などいきいきと活躍する皆様にスポットライトをあて、紹介していきます。皆様からの投稿をお待ちしています。

災害看護委員会

災害看護委員長 橋本 美雪



災害支援ナース育成と活動紹介

災害看護委員会は、災害時に活動する災害支援ナースの育成と、毎年看護の日に支援ナースの活動紹介をしています。災害支援ナースとは看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担軽減と、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療、看護を提供する役割を担う看護職のことで、災害支援ナースになるには、看護師実務経験5年以上であること、日本看護協会の会員であること、所属長の承諾があることが条件です。まず、基礎編研修を2日間受講後、実務編を受講し登録すれば完了です。実務編では、講義、グループワークの他、活動した支援ナースからの話を聞き、三角巾を使った包帯法の演習を実施しています。演習は受講者から好評です。支援ナースになると、栃木県の防災訓練の際に、医師会と協力して訓練にも参加します。訓練の様子を、ポスターなどで看護の日に紹介しています。近年どこでも起こりうる災害に対し、専門職として活動するために、研修会を受講して災害支援ナースの登録をお願いします。

医療安全対策推進委員会

医療安全対策推進委員長 星野 紀恵



医療安全水準の向上を目指して

医療安全の基本として、医療従事者個々の医療安全に対する知識・技術の向上と、医療機関が組織として医療安全管理の体制を構築し、医療安全対策を行うことが重要とされています。

医療安全対策推進委員会では、組織の医療安全体制構築の中心的役割を担う医療安全管理者の養成研修を計画しています。一昨年前に実施しました医療安全管理者養成コース修了者の実態調査の結果を参考に、医療事故ご遺族のお話や医療安全管理者との意見交換など本県オリジナルの内容となっています。

また、厚生労働省の推進する「医療安全推進週間」(11月25日を含む1週間)における現場での取り組みについて発信する予定としています。

ぜひ各施設での今後の取り組みの参考にして頂ければと思います。



「栃木県看護協会医療安全管理者

医療安全対策推進委員会では、2007年から隔年で「医療安全管理者養成コース」を開催してまいりまの医療安全管理研修受講の義務付けが謳われている中では、今後も当委員会における研修の継続は重要に、過去の「医療安全管理者養成コース」修了者の実態調査をいたしました。60施設に配布し、36施設（有床）から回答が得られました。

アンケート結果概要をご報告させていただきますので、貴施設における今後の医療安全管理者養成計画

アンケート結果

1. 施設の現状

調査対象施設は、組織の安全管理体制に関心が高く、研修修了者を組織の安全管理者として人員配置されていた。しかし研修受講歴のある施設でも医療安全管理者の配置は7割程度にとどまっていることがわかった。管理者の配置を検討している施設は63.9%であり、将来に向けての配置予定としても100%にならない現状でした施設もあり、施設管理者の方針、マンパワーの課題など現実的な問題を抱えている背景が推察される。最も多く82.6%、次いで医師30.4%、薬剤師26.1%、技師職13%であった。医療安全管理者が複数名の

1) アンケート回答施設の概要

回答全施設が有床施設であった。101～300床以下が61.1%を占めた。

2) 専従の医療安全管理者の有無

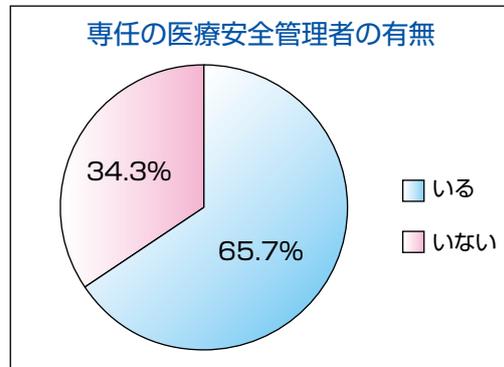
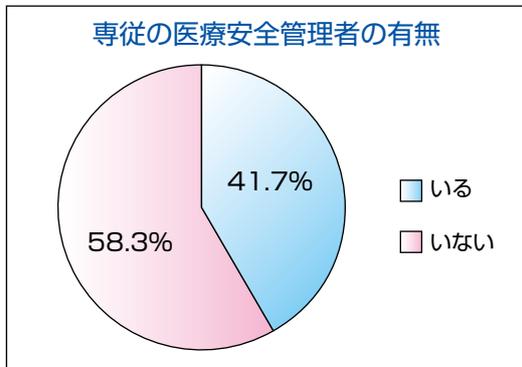
※専従とは、就業時間の8割以上を医療安全管理業務に従事
専従者を配置しているのは41.7%であった。
職種は100%看護師であった。

3) 専任の医療安全管理者の有無

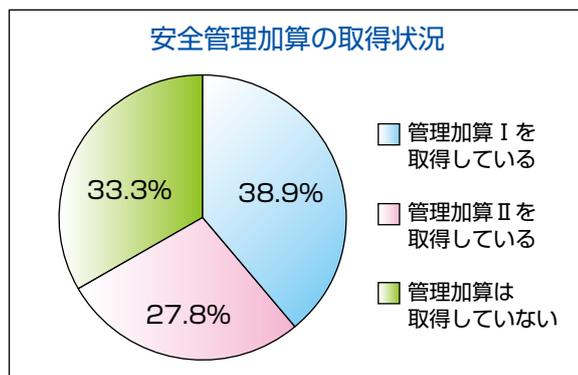
※専任とは、医療安全を担当しているが支障がない範囲
で他の業務も兼務
専任者を配置しているのは65.7%であった。

2. 養成コ

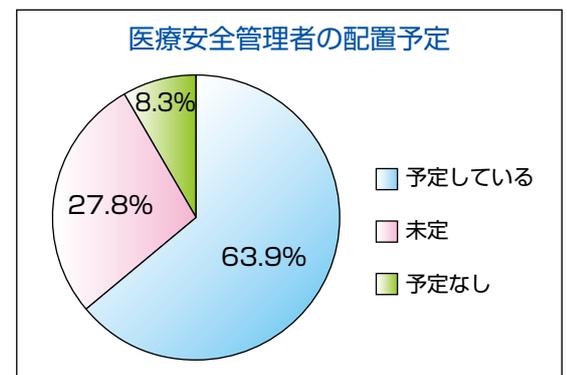
調査対象
における受講
リーダーシ



4) 安全管理加算の取得状況



5) 継続的または新規に専従もしくは専任の医療安全管理者を配置する予定の有無





養成コース」修了者の実態調査

したが、年々受講者が減少している状況にあります。しかし、国の医療安全施策の動向として、病院長な役割と認識しています。そこで、今後の研修計画（開催方法や期間、開催頻度など）を再考するため

の参考にしていただけましたら幸いです。

医療安全対策推進委員会

いる率が高いのではないかと推察して今後、継続的もしくは新規に医療安全管理者であった。更に「予定なし」と明確に回答専任医療安全管理者の職種は、看護師が配置体制となっている施設もあった。

調査対象

過去に栃木県看護協会主催の医療安全管理者養成コースを受講した60施設

調査方法

対象施設の看護管理者にアンケート用紙を送付し、FAX回答

調査期間

2016年2月22日～3月4日

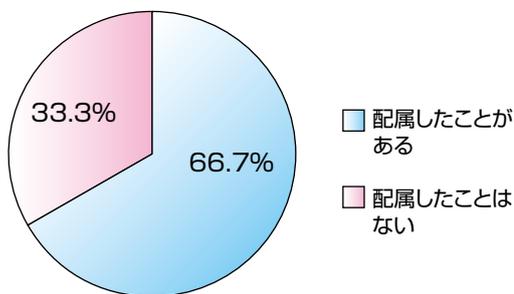
コース修了者の現状

施設では、受講目的を知識の習得や自施設内の基盤の底上げとしている施設が多い結果となっている。施設に者を増やすことで知識の習得率を上げることは可能である。しかし基盤の底上げには各自の実践のみならず、トップを発揮する管理者の存在は大きく、不可欠であるとする。

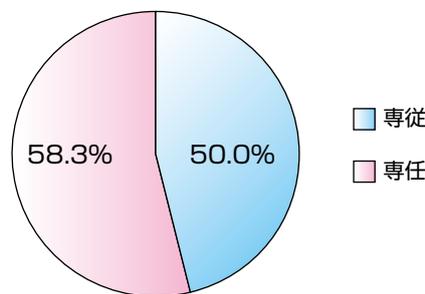
1) 医療安全管理者養成コース修了者の役割

専従または専任として配属したことがある66.7%（専従としての配属が50.0%）

専従または専任の配属の有無



配属したことがある場合

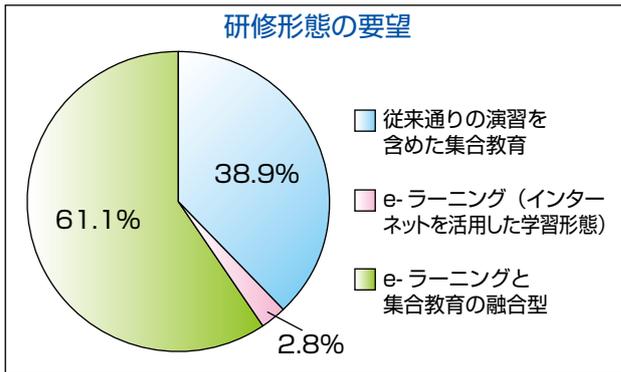




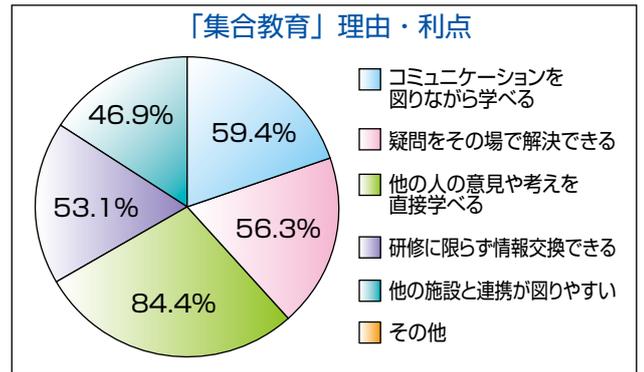
3. 研修形態

eラーニングは、92.9%の施設が受講を計画すると回答しており、管理者は、職員の勤務時間を割くことを希望している。しかし、学習のための時間を確保しているのは10.3%であり、受講者の勤務時間外負担自己研鑽として学べる環境のeラーニングはメリットが大きいが、組織の管理者を養成する学習環境としてはない。一方、時間や予算など経済的デメリットが指摘される集合教育では、議論を通して経験するグループケーション・情報交換・疑問の解決・他施設との連携、人脈作りなどがメリットである。eラーニングでは得学びとなる。組織内での横断的活動を求められる管理者にとって、集合教育のメリットは大きい。今後eラーニングの融合型の検討が必要ではないか。

1) 今後の研修形態の要望

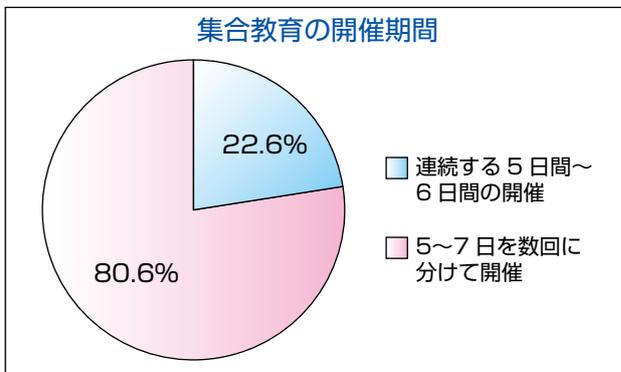


2) 集合教育の理由・利点 ※複数回答



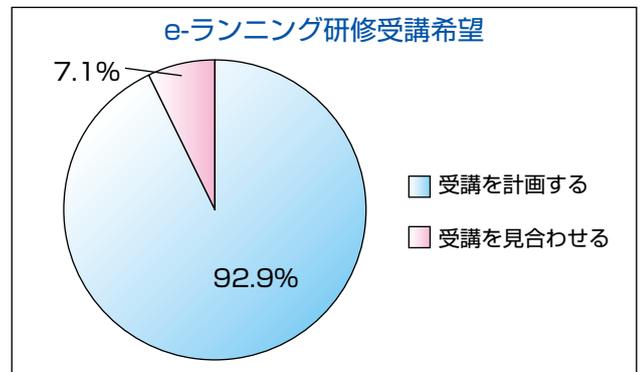
3) 集合教育の開催期間

「5～7日を数回に分けて開催」の希望が80.6%であった。



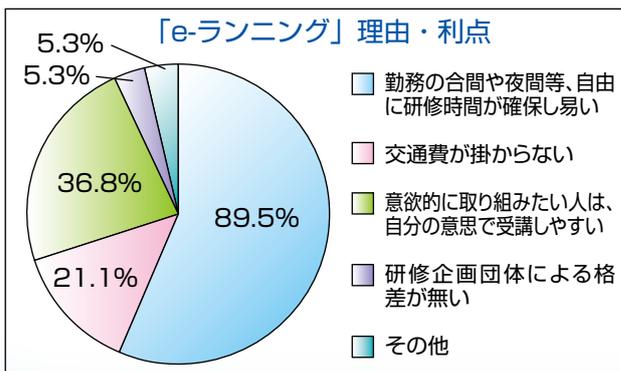
4) eラーニング研修の受講

医療安全管理者養成研修をeラーニング研修とした場合、92.9%が受講計画している。



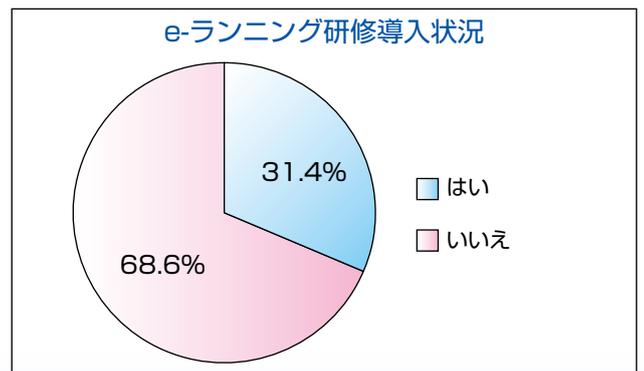
5) eラーニングを要望された内訳

「自由に受講計画が立てられる」が89.5%であった。交通費などの経済的な理由も挙げられている。



6) 要件取得に関わるeラーニング導入の有無

eラーニング導入（医療安全研修に限らない）施設が31.4%であった。

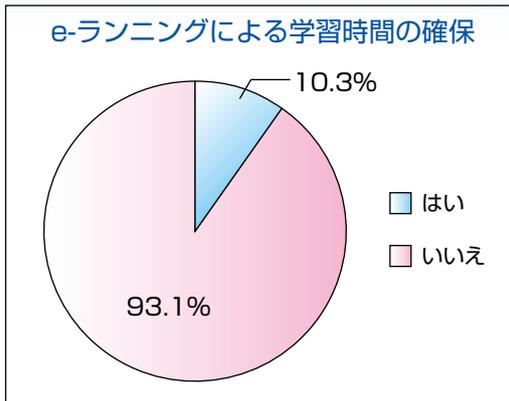




なく受講できることは明確である。望ましいとは言えワークやコミュニケーションと集合研修

7) eラーニングに対する学習時間の確保

受講時間を勤務として保障する制度(勤務時間内に確保するなど)を「設けていない」が93.1%であった。



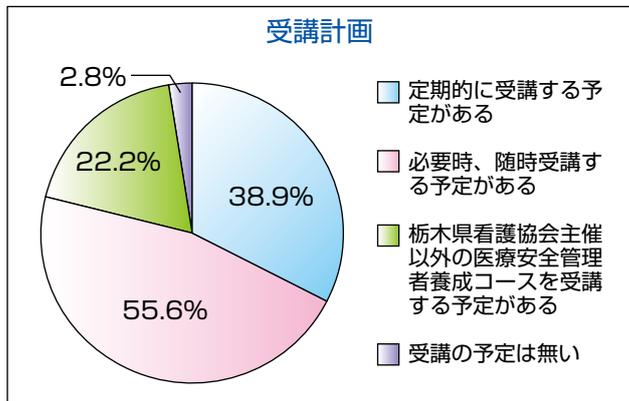
4. 医療安全管理者養成研修に関する需要

調査対象施設では、医療職としての基礎知識習得と現場の安全向上を目的とした受講が多い。本研修の需要は「必要時・随時、受講予定」が55.6%であり「定期的」とを合わせると94.5%で医療安全管理者養成研修の需要は高いことがわかる。

研修費用の負担において、88.9%の病院が受講を積極的に支援しており、医療安全管理体制の整備が重要な位置に置かれていることが伺える。

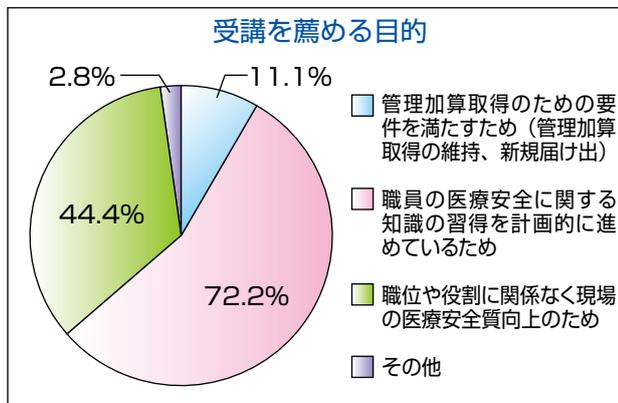
1) 今後、研修の受講計画はあるか(複数回答)

定期的が14施設 38.9%、必要時・随時が55.6%
当協会主催以外の研修受講予定は、8施設 22.2%



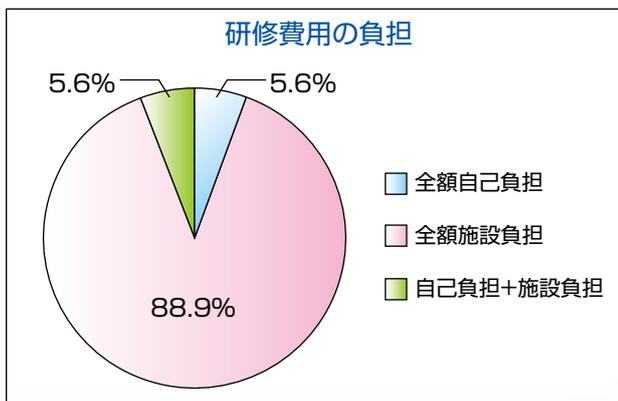
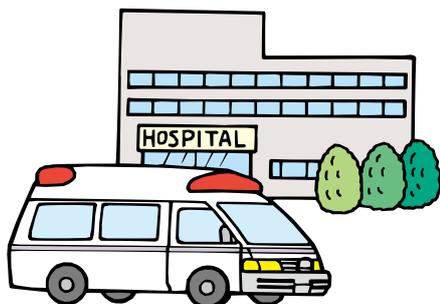
2) 職員に研修受講を薦める目的は(複数回答)

72.2%の施設が、職員の医療安全に関する知識の習得目的。現場の医療安全質向上のためは16施設 44.4%であった。管理加算取得目的は4施設 11.1%であった。



3) 医療安全管理者養成コース研修費用の負担

全額施設負担が32施設あり、88.9%であった。





栃木県ナース

子育てが一段落したので、
そろそろ仕事をしたい…



ナースセンターでは、求職・
看護職の「サポーター」として

ブランクがあるので、
不安です。



ナースセンターに行ってみよう or ホームページを見よう

どこかに相談したいな…



転職したい
生活環境の変化
人間関係の問題
キャリアアップしたい
etc

訪問看護を
希望しています！



看護師になりたい！

P16へ



訪問看護師 養成講習会

訪問看護事業の実施に必要な基本的知識と技術の習得を目的とした講習会です。
「訪問看護eラーニング」に、講義・演習と実習を加えて実施します。





センター

求人に関する相談や復職に関する相談、支援、研修を行っています。
て、転職（就職）や復職等で困った時に頼りにされる存在を目指しています。

再就業を応援しています！

再就業への一步を応援します

栃木県ナースセンター事業

看護職員再就業支援研修

受講料無料

対象者
現在未就業の方、また就業中で再学習を希望する方
栃木県内に就業を希望される看護職の資格をお持ちの方

内容
講義・演習：各コース7回実施（平日から夜間）
1コース 生活援助技術・処置技術
2コース 感染予防・薬物療法補助技術
3コース フィジカルアセスメント・救急処置の技術

研修会場
宇都宮中央病院
とちぎメディカルセンターとちぎ
国際医療福祉大学埼玉谷戸院

募集人員
各所：各回20名程度

募集期間
各開校日の7日前まで

お問い合わせ
〒320-8503 宇都宮市御膳町333-71 栃木県看護協会
TEL 028-625-6141（受付時間9:00～17:00）
http://www.tkango.or.jp/

主催：栃木県・(公社)栃木県看護協会

出張無料相談コーナー

「看護職の相談こ～な～す」

県内6か所のハローワークで開催しています。
お気軽にご利用ください！

看護職の相談 こ～な～す！ 無料

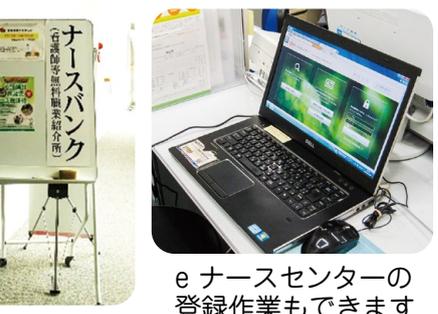
- 久々に看護職に復帰したいがどこへ行きたいか？ 県内の病院、クリニック、介護系施設、訪問看護ステーション等、紹介いたします。
- 子供を預けて仕事ができる施設はあるか？ 院内託児所がある施設も紹介します。
- 短時間正職員制度って？ 資料で説明します。
- 看護師になりたいけどどうしたらいいか？ 県内の看護学校や各業務施設内等について情報提供します。
- 仕事に再復帰するための研修ってあるか？ 「看護職員再就業支援研修」が実施中です。希望者は研修費も支給されます。

ハローワーク名 (予約受付中)	相 談 日 相談時間：13:30～15:30 (最終受付15:15まで)
宇都宮 (第3水曜日)	4/19 5/17 6/21 7/19 8/30(8/16開催) 9/20 10/18 11/15 12/20 平成30年 1/17 2/21 3/21
栃木 (第4水曜日)	6/28 7/28(7/28開催) 8/23 9/27 10/25 11/22 12/27 平成30年 1/24 2/28 3/28 ●6月以降は都合により中止です
足利 (第3火曜日)	5/16 6/20 7/18 8/23(8/16開催) 9/19 10/17 11/21 12/19 平成30年 1/18 2/20 3/20
真岡 (第4火曜日)	5/23 6/27 7/25 8/22 9/28 10/24 11/28 12/28 平成30年 1/28 2/27 3/27
小山 (第2火曜日)	5/9 6/13 7/11 8/8 9/12 10/10 11/14 12/12 平成30年 1/9 2/13 3/13
黒田 (第2水曜日)	5/10 6/14 7/12 8/9 9/13 10/11 11/8 12/13 平成30年 1/10 2/14 3/14

※お電話にてお問い合わせは、看護職員自身がお話をいたします。
(本事業は消費増税後の「地域医療分科制分科制推進委員会」を事務局として栃木県委託事業です)

お問い合わせ先 028-625-3831
(公社) 栃木県看護協会 栃木県ナースセンター

ナースセンター入口



e ナースセンターの登録作業もできます

○ ナースセンターとは？

ナースセンターとは？
栃木県ナースセンターは、看護職を業・業ともに雇い、安心して安全な就業・看護をいつでもどこでも受けることができるようにする。99年度に「看護職の人的資源の活用に関する調査」に基づき栃木県知事の指図を受け、公益社団法人栃木県看護協会が設置しています。

ナースセンターの3つの柱

- ナースバンク事業
- 訪問看護支援事業
- (看護の心)普及事業

ナースセンターとは？
ナースバンク事業
訪問看護支援事業
看護の「心」普及事業
看護への道
看護の出彩事業
看護相談こ～な～す
看護師等の応募サイト
「なびかる」
看護職員再就業支援研修
平成28年度 ナースバンク！！
再就業支援プログラム事業

栃木県看護協会ナースセンターホームページ

どちらも栃木県看護協会ホームページから見るができます

eナースセンター

無料職業紹介の機能をインターネット上で出来るようにしたものです



eナースセンター、閲覧コーナーのご利用にはナースバンクへのご登録が必要です。



求職票の閲覧コーナー



看護の「心」普及事業

「看護の日」記念行事

毎年5月12日は「看護の日」。

そして、12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」。

「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに「看護の日」記念行事を実施。まちの保健室、記念講演、ふれあい看護体験の体験談の発表の他、新しい試みとして、平成29年度は「心にのこる看護エピソード」を募集し、入賞者の表彰と最優秀作品の朗読も行いました。（看護エピソードは随時募集中です!）



進路・就職相談

心にのこる看護エピソード入賞者

- 最優秀賞 匿名「突然の母の病気
～支えてくれた看護師に感謝～」
- 優秀賞 臼井佳子さん「素敵な入院生活」
根本晃さん「御礼」
匿名「笑顔のやりとり」
匿名「16才」



まちの保健室
(助産師によるハンドマッサージ)

ふれあい看護体験

医療施設等にて、看護職の業務を体験します。
毎年5月から8月までの期間に実施しています。
平成29年度は64施設で実施しています。



看護の出前授業

看護職を目指す県内の中高生等の皆さまに現場で活躍する看護職員がその魅力をお伝えし、進路等についても相談に応じます。

「看護への道」

看護職を目指す方へのまるわかりガイドブック!

→ <http://www.t-kango.or.jp/nurse4.html>



離職された看護職の方へ

※ スマートフォンやパソコンから「届出登録」のご協力をお願いいたします。

看護職は離職時等にナースセンターへ届け出ることが、平成27年10月1日から努力義務化されました。また、登録情報の管理をする新システムが発足しました。詳しくは…

看護師等の届出制度

とどはるん

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

または 公益社団法人栃木県看護協会 栃木県ナースセンター (TEL 028 (625) 3831) へ



平成28年度 離職状況施設調査結果

対象 107病院

回収率 約80%

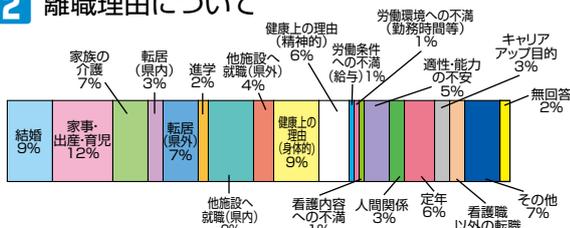
総離職者数 1,053名

離職率 8.2%

1 離職者の年齢について



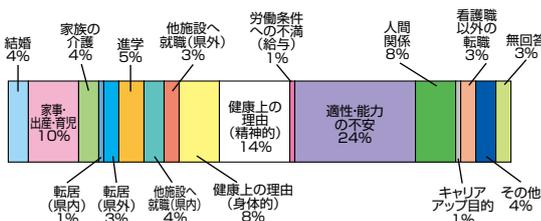
2 離職理由について



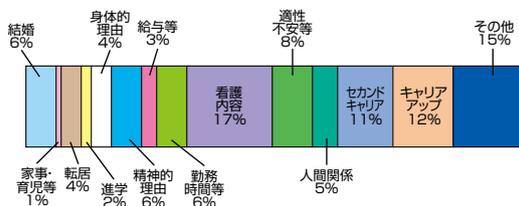
3 ① 離職者は新卒の方ですか。



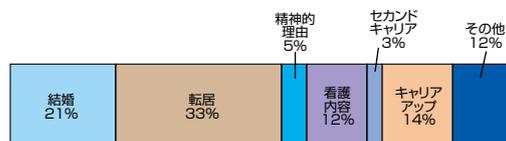
② 新卒者(卒後1年未満の方)の離職理由



4 【県内他施設への就職】の理由



5 【県外他施設への就職】の理由



6 離職者の今後の就業について



ご協力ありがとうございました。

WLB(ワーク・ライフ・バランス)の推進

栃木県看護協会では、看護職のワーク・ライフ・バランスに取り組み、働き続けられる職場づくりを行う施設と連携・協働し、労働環境改善を支援しています。

詳しくはホームページをご覧ください。



お問い合わせ

公益社団法人栃木県看護協会 栃木県ナースセンター

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F

TEL 028(625)6141

FAX 028(625)8988

Email nursecenter@t-kango.or.jp

ホームページ <http://www.t-kango.or.jp/nurse1.html>



※ 看護職能無料職業紹介所(ナースバンク)・看護職の相談こ～な～す!・とどけるんのお問い合わせは TEL 028(625)3831へ!



味自慢 カレートースト



●材料(1人前)

食パン	90g(8枚切り2枚)	ツナ缶	20g
マヨネーズ	10g	カレー粉	0.5g
玉ねぎ	20g	ピザ用チーズ	18g
ピーマン	10g		

●作り方

- 1 玉ねぎはスライス。
- 2 ピーマンはヘタと種をとり、縦てに2つ切り、次に横に千切り。
- 3 玉ねぎの水分を良く絞り、ツナとあわせ、マヨネーズとカレー粉で混ぜ具を作る。
- 4 スライスチーズを縦に4等分にし、食パン1枚に2/4等分のをせ、その上に具を乗せ、ピーマンをちらしトーストする。

料理提供者：県西健康福祉センター I.M

わたしの on-off

何気なしに始めた陶芸

出来た陶器で飲むお茶は最高です。



写真提供：今市病院 F.T

広報委員交代



山口 聡美



小倉 敏満

表彰おめでとうございます

旭日双光章	河野 順子様
瑞宝双光章	野本伊江子様
日本看護協会名誉会員	鯉淵タツノ様
日本看護協会会長表彰	工藤 祝子様
日本看護協会会長表彰	宇山 房子様

編集後記

今年度がスタートしました。充実した内容を目指していきますので、よろしくお願いします。(佐藤)